

令和7年度 第1回 京都大学防災研究所自然災害研究協議会 議事録

日時：令和7年5月1日（木）15時00分～16時00分

場所：Zoomによるオンライン会議

出席者：1号委員 大湊、河島、渦岡、五十子

2号委員 渡部、今村、内村、富田、紅谷、鈴木、蔭、山城

3号委員 加藤、山口、王、小林、角、塚原、杉浦

4号委員 大倉、清水

5号委員 平野

6号委員 畑山、廣井

欠席 滝口、河野、大倉、柴山

〃〃〃〃 堀、境、大慈弥、久利、内山

陪席 河津、河村

（敬称略、委員名簿順）

配付資料：

資料1 京都大学防災研究所自然災害研究協議会委員名簿

資料2 令和6年度第3回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録（案）

資料3 令和6年度自然災害研究協議会決算報告

資料4 本部・各地区部会の活動計画及び予算計画

4-1 本部、4-2 北海道地区、4-3 東北地区、4-4 関東地区、4-5 中部地区、

4-6 近畿地区、4-7 中国地区、4-8 四国地区、4-9 西部地区

資料5 令和7年度自然災害研究協議会予算（案）

資料6 第62回自然災害科学総合シンポジウム（案）

資料7 7-1 自然災害研究協議会科研費（突発災害）申請ガイドライン

7-2 突発災害調査委員会名簿（令和7年度）（案）

7-3 特別研究促進費「2025年大船渡市山林火災の総合調査研究」

資料8 京都大学防災研究所自然災害研究協議会規程

京都大学防災研究所自然災害研究協議会申合せ

議事に先立ち、堀京都大学防災研究所長から挨拶があった。続いて、大慈弥防災科学技術調整官（文部科学省 研究開発局 地震火山防災研究課）及び久利測地学専門官（文部科学省 研究開発局 地震火山防災研究課）から挨拶があった。

議 事：

1. (報告) 委員の紹介 (資料 1)

総務担当の王委員より、新任委員の紹介があり、新任委員より挨拶があった。

2. (審議) 議長および議長代理の選出

議長について、総務担当の王委員より東京大学の大湊委員が推薦され、了承された。また、議長代理について、大湊議長により、新潟大学の河島委員が指名された。

3. (審議) 令和 6 年度第 3 回協議会議事録 (案) の確認

王委員より、資料 2 に基づいて説明があり、一部修正したうえで、了承された。

(修正箇所) 2 号委員今村委員の (代理) を削除

4. (報告) 令和 6 年度決算報告

王委員より資料 3 に基づき決算について報告があり、一部修正があった。

(修正箇所) 【財源別】執行額 (C) 165 万円→150 万円 (D) 150 万円→165 万円

5. (審議) 令和 7 年度の本部・各地区部会の活動計画及び予算計画

【資料 4-1~4-9】に基づき、本部および各地区部会より令和 7 年度の活動計画及び予算計画について報告があった。報告要旨は以下のとおり。

- ・ 本部：第 62 回自然災害科学総合シンポジウム、(共催) 河川災害に関するシンポジウム (主催：土木学会水工学委員会)、(後援) 防犯防災総合展 2025、科研費 (特別研究促進費)・突発災害調査の実施【資料 7】、自然災害研究協議会による突発災害 (初動調査、継続的調査等) 調査研究サポート、データベース SAIGAI の充実【資料 4-1-1】、国際展開調査【資料 4-1-2】
- ・ 北海道地区：北海道地区幹事会 2 回、北海道地区総会 1 回、地区フォーラム開催、北海道地区自然災害科学資料センターホームページの管理運営、予算計画
- ・ 東北地区：東北地域災害科学研究集会および東北地区部会総会の開催、研究論文集、ウェブページの管理運営、メーリングリスト (東北地区部会員名簿) の管理運営、東北地区自然災害資料センターの管理運営、予算計画
- ・ 関東地区：災害×ダイバーシティセミナー、ハザードマップを見ながらの避難所周辺散策、予算計画

- ・ 中部地区：東海圏減災研究コンソーシアムシンポジウムの開催、げんさい楽座のスピアウト企画の開催、「三重大学・防災アカデミー」の開催、シンポジウム「インフラの耐震性強化・災害復旧とメンテナンス」の開催、東三河地域の防災力向上シンポジウムの開催、自然災害科学中部地区研究集会の開催、「何気ない日常から得る環境問題と防災減災（仮）」の開催、中部地区自然災害資料センターの活動、自然災害調査・報告活動、予算計画
- ・ 近畿地区：近畿地区部会メンバー名簿更新、近畿地区部会幹事会の開催、防災関連研究集会の共催、ホームページの内容更新、予算計画
- ・ 中国地区：部会ホームページの管理運営等、2025 年度自然災害研究協議会中国地区部会研究発表会を実施、自然災害研究協議会中国地区部会研究論文集（第 12 号）の発行、各防災研究グループへの活動補助を実施、中国地方に在住する研究者等との研究活動の連携、山口大学地域レジリエンス研究センターとの連携、予算計画
- ・ 四国地区：突発災害調査又は過去の被災地復興調査、令和 7 年度自然災害フォーラム及び第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウムの合同開催、四国地区部会の開催、予算計画
- ・ 西部地区：西部地区部会研究発表会の開催、西部地区部会報第 50 号の発行と関係機関等への配布、西部地区部会 HP の作成・管理、西部地区部会メール登録者リストの管理・更新、予算計画

6. (審議) 令和 7 年度自然災害研究協議会予算 (案)

王委員より、資料 5 に基づき予算について説明があり、一部修正したうえで了承された。

(修正箇所)【財源別】予算額 (C) 150 万円→165 万円 (D) 165 万円→150 万円

7. (審議) 第 62 回自然災害科学総合シンポジウム (案) について

王委員より、資料 6 に基づき報告があり、承認された。

8. (審議) 突発災害調査委員会について

王委員より、資料 7 に基づき突発災害調査委員会の委員の変更について報告があり、承認された。また、「2025 年大船渡市山林火災の総合調査研究」に対する科学研究費助成事業による助成【資料 7-3】について説明があった。

9. (審議) 第 2 回自然災害研究協議会について

前回の協議会において議論した山梨県の中部地区部会から関東地区部会への異動について申合せに反映されていないため、修正した資料を協議会終了後に送付する旨報告があり、了承された。

10. その他

なし